



にじいろ

「学年通信」は、生徒の皆さんが読み終わった後、必ず保護者の方に渡してください

「2500年前のおじさんからもらった勇氣」 1学年主任 小澤 春美

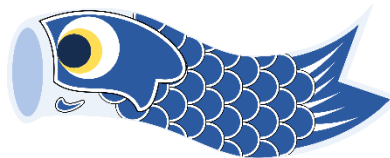
甲府東高校に入学して2週間が経ちましたね。少しずつ高校生活にも慣れてきた頃でしょうか？
高校では、どんなことに挑戦したいという希望を持って入学しましたか？初心を大切に、失敗を恐れず、やってみたいと思ったことにはどんどん挑戦しましょう！
私は、今でも時々失敗をします。しかし、ある言葉に出会ってからは失敗への捉え方が変わり、失敗をあまり恐れずに挑戦することができるようになりました。自分がこれまでに担任をした生徒には伝えてきたのですが、もう自分のクラスが無いので、ここで伝えたいと思います。私に大きな勇氣をくれた言葉は『論語』の中の「^{あやま}過ちて改めざる、^{これ}是を過ちと謂ふ。」（^い過ちを犯しても改めない、それこそが“過ち”である。）という孔子の言葉です。

この言葉に出会った当時大学生だった私は、これを「失敗をしても、それを受けとめ、反省し、改めようと努めれば、それは本当の意味での失敗ではないのだ」と受け取りました。大切なことは、間違いを自覚し、失敗したその後はどう行動に移すかということなのです。素直に反省し、改めようと考え、行動に移すことを繰り返す中で、人は一歩一歩成長していくのだと信じています。失敗をしても、それは失敗ではなく、自分の成長へのチャンスと捉え、前向きに挑戦する皆さんを応援していきたいです。頑張れ、1年生！！

「過而不改、是謂過矣。」（『論語』衛靈公篇） 孔子（紀元前552年生まれ）

【5月の主な行事予定】

- 5月 1日（金）応援練習 壮行会 生徒総会 ポロシャツ・ニットベスト販売日
- 11日（月）内科検診（全員）
- 12日（火）耳鼻科検診（1年4～6組）
- 13日（水）～15日（金）高校総体
- 15日（金）▲上カセット
- 18日（月）～24日（日）学習強化週間
- 18日（月）キャリアオリエンテーション 第1回進路希望調査
- 19日（火）尿検査1次
- 22日（金）交通講話 保護者対象進路研修会
- 23日（土）サタデーチャレンジラボ（午前）
- 25日（月）～28日（木）第1回定期試験
- 28日（木）ネット・スマホ安全講話 植花作業
- 28日（木）試験終了後 ～6月16日（火）学園祭準備期間
- 29日（金）成績処理日（生徒休業日）



【1学年リレー通信】

「君たちはどう生きるか」

1組担任 土屋 雄介

小学校1年生の誕生日に、発売したばかりのスーパーファミコンとスーパーマリオワールドを買ってもらった。家庭の方針で毎日遊べるわけではなく、クリアするためにいろいろと工夫したことを覚えている。視聴するTVは、世界ふしぎ発見、ドラえもん、2時間サスペンス(食事・団欒の時間に流れているもの)程度で、漫画やアニメは原則禁止(といひかなんとなくそう感じた)だったため、今思えば、さぞかし思考の偏った人間になるだろうと懸念されたが、いまだに読んだことも観たこともないドラゴンボールについてもスラムダンクについても、友人たちの会話からその世界を想像・構築する力が身についたし、何より、今を楽しく生きているのだから問題ない。また、思考が偏っていることを否定する気も毛頭ない。

そんな中、小学生である土屋少年の家にあった漫画といえば歴史の偉人シリーズ。応接間にはブリタニカ国際大百科事典・美術大全・世界地図大百科が鎮座しており、レーザーカラオケで昭和歌謡を嗜む環境も整っていた。一人の時間は、住宅のチラシを真似て理想の間取りを考えたり、百科事典を開いてユニークな地名を探したりすることが最高の暇潰しであり、はじめて描いた将来の夢は「住宅デザイナー」であったことをふと思い出した。

今の趣味は当時の反動からか、サブスクでアニメや映画を観たり、GeoGuessr(Google Mapの場所当てゲーム)のYouTube配信を視聴しつつ自分でもプレイをしたりしている。また、VF甲府のAWAY観戦ついでにその土地の城・神社巡りをして御朱印を集めていることを考えると、人間の興味・関心は小さい頃の経験に基づくものだなあと、熟と感じる。「ムダだと思えることに全力のエネルギーを注ぐ」ことが私のモットーであるから、例えば先述のGeoGuessr攻略の術でいうと、日本全国の市町村の市外局番を暗記していることは、ヤバい人だと思われそうなので秘密にしておこうと思う。

閑話休題。少年は誕生日の度に、マリオカート、ドラクエ、桃鉄…一小6時のポケモン赤・緑は時代を席卷したなあー多くの名作に出会うこととなる。25年以上経ち、それらは色褪せるところか新たなファンを獲得し進化を遂げている。これから25年後、ゲーム業界は一体どうなっているのだろうと想像するとワクワクする。時を同じく、父は「麻雀ゲーム」を購入した。息子に買うのなら俺も1つ、というのはごく自然である。導入初年度には「スーパーマリオ」と「麻雀」しかないのだから、少年は時折マリオに黙って浮気をする。7歳児がその奥深さを知るには難解であったが、ただ綺麗に絵合わせをしているつもりで人生初の役満「緑一色」を仕上げたことは、今思うと感慨深い。時の流れとともに徐々にそのゲーム性に魅了された少年は、10年後に高校のクラスメイトとカードゲームで嗜むまでに成長、さらには大学進学後に雀荘バイトで技術と経験を積み、プロ試験を受験するまでに至った。当時の少年の想像を超える人生である。教員とプロ雀士の二刀流は、世界中どこを探してもいないであろう。ナンバー1よりオンリー1派の私にとっては最高の条件であったが、就職活動の末、今は教師一本で生きている。日々のプロ対局視聴と、休日に仲間と卓を囲む今の生活に満足はしているが、教え子をMリーガーにすることが夢であることは、これから先も変わらない。(誰か本気で勉強してみない？みんなが学校で勝手にすることはできないけど、頭脳競技スポーツとしての学びを共有しよう。)

世の中はあらゆるもので溢れ、如何なることも経験できる。一方で我々は、自分がいままで出会ったもの・経験したことからのみしか想像の世界を創造することはできないと思っている。「人の気持ちに立って考えろ」と言われたって、想像するための土台がなければ難しい。だから、誰かからイヤなことをされても「この人は想像力がないのだからしょうがない」と、気にしないで笑顔で生きている。そうすると、この世から「ストレス」がなくなるのだから、面白い。

よって、多くの経験を積むために、若い時は多くの刺激を受け、たくさん失敗し、ムダだと思えることに全力を注いでみるといい。**素敵な仲間と出会うコツが1つあるとしたら、「人が面白いと思ったものに乗られる力」であると信じている。**自分一人で飛び込むには勇気がある世界に、案外ワクワクさせてくれるものがあるかもしれない。世の中に不可能なことがあるとしたら、「すでに経験済みのことを初体験すること」のみである。失敗がたくさんできる、初体験がたくさんできる高校生諸君が、心底羨ましい。

最後に、東高校の先輩として感じていることを伝えよう。この学校には、何かやりたいと思えば受け入れ、賛同してくれる環境がある。一緒に楽しんでくれる生徒や同僚もいる。失敗や欠点を論うのではなく、陰でそっと支えてくれる仲間がいる。君たちがこれからの高校生活で、『誰か』『何か』に対して、同様の感覚を持ってくれることを願っている。私は、「**受けた恩は石に刻み、かけた情は水に流す**」ことに決めている。人との繋がりを感じ、窓の外を眺めながら詠み人知らずの詩を口遊む。そんな平穏な日常を希いながら、今日もMリーグでトッププロの対局を、その思考を楽しもうと思う。